

## 平成22年度局配分枠予算について

市 会 事 務 局

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

議会費予算は、未来まちづくりプランの行財政改革・創造の取組に加え、更なる削減を求められる厳しい状況となった。

そこで、平成22年度予算編成に当たっては、徹底した事務経費の精査を行い、京都市全体の財源不足に対応しながらも、円滑な議会運営を図ることができる予算を確保した。

また、非常に厳しい財政状況下ではあるが、開かれた議会のより一層の推進を図るため、市会だよりの増ページのための予算を計上した。

### 2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

#### <充実事業>

市会だより作成・配布 全体事業費 13,210 千円（うち充実分 1,343 千円）

## 平成22年度局配分枠予算について

選挙管理委員会事務局

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

京都府知事選挙及び参議院議員通常選挙が予定されていることから、これらの執行経費を計上するとともに、選挙人名簿の調製や選挙啓発事業等の経常事務経費を計上している。

また、平成22年5月施行の「日本国憲法の改正手続に関する法律」の規定に基づき、投票人名簿の調製等を行うため、現在選挙事務で使用している各システムの改修を行う。

## 平成22年度局配分枠予算について

監査事務局

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

京都市財政が深刻な状況にある中、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行等に伴い、監査機能の果たす役割はさらに増しており、財務会計などの専門性を高めるための研修をはじめ、監査能力の向上に向けた予算編成を行った。

## 平成22年度局配分枠予算について

人事委員会事務局

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

市政を担う優秀で多様な人材を確保するための採用試験、職員の持てる能力を最大限に発揮できる人事給与制度の調査・研究、公正な公平審査を行うための予算編成を行った。

## 平成22年度局配分枠予算について

会計室

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

会計室は、会計管理者の補助組織として金銭会計事務及び物品会計事務を所管しており、可能な限り経費節減に努めている。

今年度の予算編成においては、物品センターを事業所として廃止し、会計室倉庫となった位置づけから、物品センター運営を会計事務に統合したほか、ゆうちょ銀行の収納事務手数料の値下げにより、公金取扱手数料を大幅に削減した。